



 そうふうPartⅡ 爽風 発行者：校長 下地美和子	学校教育目標 創造性にあふれた 心豊かでたくましく 生きる児童の育成 目指す児童像 ・自ら学び考える子・思いやりのある子・健康でねばり強い子 ・当たり前のことを一生懸命にやる子（凡事徹底）
★しんけんにもちあじいかしてじぶんから 明るい心 未来へつながる 下地小	

『宮古上布物語』宮古上布誕生秘話 ～下地の偉人『稲石さん』のお話紹介

2月7日(金)の校長先生のお話朝会は「宮古上布」についてです。これは、下地地区の偉人、宮古上布の創始者「稲石さん」がなぜ宮古上布を作ったのかというお話です。

約25年前にちょうど図書館研究校だった下地小に、勤めていた先生方で作った大型絵本「宮古上布物語」を、前泊直子先生からお借りして紹介しました。朝会では、宮古上布の着物を展示し、先生方がそれぞれ「稲石」「真栄」「王様」「水夫」「家来」などの役になりきり、楽しく全児童に紹介することができました。

当日には、絵本を貸してくださった前泊直子先生、宮古上布の着物を貸してくださった宮古島市伝統工芸品センターの織物組合理事長・浦崎美由希さん、そして稲石さんの直系15代目に当たる仲間涼子さんも駆けつけてくれました。

子ども達は「下地で昔こんなことがあったとは知らなかった。」「下地のすごい人を知ることが出来て良かった。」「稲石さんの発想は天才だと思った。」と感想を書いていました。

これから下地の事をもっと理解して、下地地域に誇りを持つ児童に育ってほしいなあと思います。この場を借りて、今回、ご協力頂いた皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。



中学へのステップ！ 下地中学校にて、6年生、 中1年と合同英語の授業体験

2月4日(火)は、6年生がお隣の中学校へ足を運び中学1年生との合同の英語の授業を体験してきました。小・中の英語・外国語の先生2人の自己紹介から始まり、やりとりの例を紹介した後、互いに、小学校の思い出と、中学校の行事を英語で伝え合う活動を行いました。さらにフリートークでは、お気に入りの物やこと、したいことや欲しいものなどについて尋ねたり答えたりしました。

6年生にとっては、2ヶ月後に始まる中学校生活を体験することができ、中学校入学へのステップになりました。



※学校の様子は、ブログでも随時ご紹介しています。「宮古島市立下地小学校ブログ」をご覧ください。